

第 5 0 回理事会 議事録

1 開催場所

札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 札幌センタービル 5 階 A 会議室

2 開催日時

2 0 2 5 年 7 月 9 日 (水) 1 3 時 3 0 分から 1 4 時 2 0 分まで

3 理事総数 9 名

4 出欠等の状況

理事(出席)	8 名	阿部 啓二、小貫 秀治、佐藤 季規、鈴木 英一、高田 聡、 谷 一之、田村 亨、山崎 弘善
理事(欠席)	1 名	林 美香子
監事(出席)	2 名	末永 仁宏、山本 眞樹夫
議事録作成者		谷 一之(専務理事)

5 定足数の報告

定刻に至り、阿部理事長が挨拶の後、理事 9 名のうち過半数が出席しているので、定款第 4 1 条の規定により、本理事会が成立している旨を告げた。

6 議案の審議状況及び議決の結果等

次に、阿部理事長から、定款 4 4 条第 2 項の規定により、議事録署名人を理事長、末永監事、山本監事とする旨を告げて議事に入った。

第 1 号議案「2 0 2 4 年度事業報告書(案)について」、第 2 号議案「2 0 2 4 年度決算報告書(案)について」の件

第 1 号議案、第 2 号議案については、密接に関連することから、一括して審議を行うこととし、谷専務理事より、資料 1 に基づき、報告事項の「代表理事の業務執行報告」を兼ねて 2 0 2 4 年度の事業実施内容について説明を行った後、中尾事務局長より資料 3 に基づき、2 0 2 4 年度決算報告書について説明があり、説明終了後、末永監事が監事を代表して監査報告を行った。

本件に関して議長から質問、意見などの発言を求めたところ、次のとおり発言があり、事務局から説明があった。

【鈴木理事】

資料 3 決算報告書について、正味財産期末残高は、対前年比では、約 3 8 0 0 万円のマイナスということだが、これは、基本財産の評価額がトランプ効果で一時的に下がったことによる影響という理解でよいか。今現在は、評価損は回復しつつあるということか。

【中尾事務局長】

お見込みのとおり。日経平均株価も回復しており、現時点においては、概ねそれに連動する形で資産価値も回復していると考えている。

【田村理事】

報告事項の大前提についての確認だが、財団運営が新しい仕組みでスタートしたのが 2 0 2 4 年、今日はその 1 回目の報告が行われたものであり、今後今年も含めた 3 カ年(2 0 2 4 年～2 0 2 6 年)で、一度目途を付けるというシナリオと考えてよいか。

【谷専務理事】

3か年のアクションプランは今年が2年目であり、本日は1年目の事業報告をさせて頂いたということである。

【田村理事】

アクションプランの実施前と比べて大きく変わったところは、事業の成果を外部の意見も踏まえ自分達で評価し、きちんと理事会にも報告しているということであり、大変よいことだと考えている。

事務局として、こうした評価の結果を課題も含め、全体としてどう捉えて、どう解釈をしているのかを伺いたい。

【根津課長】

内部評価においては、細かくみると様々な課題があり、評価の過程を通じて、その課題を内部で共有するとともに、外部の有識者の方々から、ご意見やアドバイスをいただいている。

有識者からは、例えば、支援期間が終了してもそれで終わりではなく、その後も何らかの形で支援を継続し、繋がりを持ちながら、活動に寄与できるのではないかと意見もいただいております。我々としても、こうした観点から、可能な限りの取組を行っているところ。

その後、審議の結果、第1号議案、第2号議案については、原案のとおり出席理事全員一致で承認した。

第3号議案「評議員会の開催について」の件

谷専務理事より、資料4に基づき、第19回評議員会の開催について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致で決定した。

7 その他

会議次第4「その他」に入り、議長から役員及び事務局に発言等を求めたところ、事務局から、最新の事業受託状況などについて説明し、その後特に発言はなく、議長が「以上をもって本日の議事は、全て終了した」と宣言し、14時20分に理事会を閉会し、解散した。

上記の議決等を明確にするため、定款第44条第2項の規定に基づき、出席した理事長及び監事は、本議事録に記名押印する。

2025年7月9日

公益財団法人 はまなす財団 第50回理事会

理 事 長 阿部 啓二 印

監 事 末永 仁宏 印

監 事 山本 眞樹夫 印